

消化器外科を受診している患者さんへ

当科では、下記の臨床研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開することが求められている研究です。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	穿孔性虫垂炎に対する laparoscopic interval appendectomy の安全性と課題について
研究機関名	愛知医科大学病院
研究機関の長	病院長 羽生田 正行
担当科等	消化器外科
研究責任者	消化器外科 教授(特任) 小松俊一郎
研究の意義・目的	虫垂炎の患者さんに対する治療法 (laparoscopic interval appendectomy : 待機的腹腔鏡下虫垂切除術)を比較・検討し成績向上を目的とします。
対象となる患者さん	2015年3月から2018年11月までに当院で外科的治療を施行した穿孔性虫垂炎の患者さん
研究の方法	診療録に記載された情報を収集し、解析検討を行います。 研究に関する資料は入手閲覧可能です。閲覧を希望する場合は下記へお問い合わせください。
研究期間	倫理審査委員会承認日 ~ 2022年3月31日
個人情報の取り扱い	利用する情報から、お名前、住所など個人を特定できる個人情報は削除して利用します。また、研究結果は学会や論文などで発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。 診療情報などの本研究への利用を拒否される方は、下記問い合わせ先まで申し出てください。
問い合わせ先	愛知医科大学 医学部消化器外科講座 担当者：専修医 鈴木健太 電話 0561-62-3311 (内線 22121)